

## 2025年度医療連携講演会のご案内

例年200余名を越えるご参加とご好評をいただいております「医療連携講演会」を今年も開催いたします。ご参加方法の詳細はQRコードとURLよりご確認ください。(要申込)。

2025年9月18日(木)

参加  
無料



受付 17:30～

講演会 18:00～19:30

交流会 19:30～20:00 (是非ご参加ください)

会場 京成ホテルミラマーレ6F ローズルーム(京成線 千葉中央駅直結)  
※当日のライブ配信はございません

定員 200～300名

URL <https://x.gd/g5c79>



## スポーツ歯科のご案内

近年、マウスガードの装着が義務化されているスポーツ種目が増加しています。マウスガードは外傷の予防だけでなく、噛み締めによる歯の破折や顎関節症、脳震盪なども予防します。「噛み合わせ」や「お口の健康」は日々の生活だけではなくスポーツパフォーマンスにも大きく影響するため、当科では歯科的側面から安全で適切なスポーツ用マウスガードを提供しています。詳細は総合診療科にお問い合わせください。



## 患者紹介について

当センターでは、原則として予約をいただいた紹介患者様を優先して受け入れております。医療機関の先生方には、「診療情報提供書(紹介状)」をご記入のうえ、患者様から「予約専用ダイヤル」へご連絡いただくようお願いいたします。  
※急患の方は、随時対応いたします。また、ご紹介に関するご相談やお問い合わせにつきましては、「医療連携室」までご連絡をお願いいたします。

診療情報  
提供書  
(紹介状)



### 予約専用ダイヤル

利用時間 月曜日～土曜日9:00～17:30(休診日:日曜、祝日、第2土曜、年末年始、創立記念日[2月12日])

口腔外科、歯科麻酔科、小児歯科、保存科、補綴科、総合診療科、摂食嚥下リハビリテーション科 043-270-3900

口腔インプラント科 043-270-3653 矯正歯科 043-270-3903 歯科放射線科 043-270-3907

### 医療連携室

利用時間 平日9:00～17:00(休診日:日曜、祝日、第2土曜、年末年始、創立記念日[2月12日])

TEL 043-270-3279 FAX 043-270-3648



東京歯科大学千葉歯科医療センター

〒261-8502 千葉市美浜区真砂 1-2-2

東京歯科大学千葉歯科医療センター 医療連携室 発行

TEL 043-270-3279

<https://www.tdc.ac.jp/ch/tabid/300/Default.aspx>



ホームページ

# CHIBA DENTAL CENTER PRESS

VOLUME  
05  
FREE MAGAZINE

## CONTENTS

01. 新体制発足のご案内

02. 新センター長、副センター長のご挨拶

03. 医療連携講演会・スポーツ歯科のご案内

## 2025年6月、新体制が発足しました。

2021年のセンター開設から4年目、前身の東京歯科大学千葉病院開設から44年目を迎えた本年、6月よりセンター長を筆頭に新たな体制が発足いたしました。

我が国では、2007年に世界で最も早く高齢化率が21%を超え、2025年には約30%、2060年には約40%に達するとみられています。この千葉市においても2024年時点の高齢化率は26.3%、介護保険の要介護認定率は18.85%と確実に上昇しています※。

高齢化率を食い止めることは難しいものの、健康寿命の延伸において、口腔の側面から支援することは、私たち歯科医療が連携することで可能であると考えます。それは、いつまでも「口

から食べる喜び」、や「話す楽しみ」を保ち、充実した生活を送るために、「食べる」「話す」ための口腔内環境を整え、その機能を維持・改善し、低下を予防することに他なりません。

また、これらの楽しみは高齢者に限らず、すべてのライフステージにおいて重要です。本センターでは、適切な検査と管理体制を整え、全世代にわたって「食べる」「話す」楽しみの実現に向け、日々取り組んでいます。

1.5次医療機関としての役割を果たし、地域医療との連携と後方支援に尽くすべく、新体制のもとでも、引き続き皆様に信頼いただける医療の提供に努めてまいります。

※千葉市高齢者保健福祉推進計画第9期資料より



新たな体制で  
地域と、未来を、  
支えてまいります。

## センター長 山下 秀一郎

### 略歴

昭和59年3月 東京医科歯科大学歯学部卒業

昭和63年3月 東京医科歯科大学大学院修了  
…その後テキサス大学への留学、  
松本歯科大学を経て

平成23年4月 東京歯科大学口腔健康臨床科学講座教授

平成25年6月 東京歯科大学水道橋病院副院長

平成27年4月 東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学  
講座主任教授

令和4年6月 東京歯科大学水道橋病院病院長

令和7年6月 東京歯科大学副学長、  
千葉歯科医療センター長

コーヒーを生豆から自宅で焙煎して飲むのが趣味。火入れのタイミングで味が違うことに感動。好きな豆はエメラルドマウンテン。

この度、センター長に就任いたしました山下秀一郎です。補綴の見地から「食べられること」を支援し続け今日に至ります。前任の水道橋病院は都市型病院としての特徴を有していた一方で、この千葉歯科医療センターは広々とした空を眺め、ゆとりある診療環境で皆様への治療を提供する地域密着型病院だということを肌身で感じております。病院特性を踏まえ、ご紹介いただく先生方の想いを受け止め、患者様一人ひとりのご要望に応え、そして地域の皆様の健康を支え続けられるよう適正な病院運営を目指してまいります。

センターに課せられた使命は「教育機関であること」と「高度医療を提供すること」です。大学病院として研修医および学生の臨床実習を受け入れ、診療科に応じた対応から総合診療科にて患者様全体を診る技術も磨いております。未来の歯科を支える優秀な人材育成のために、ご理解のほどお願いします。高度医療の提供においては、4つの部門と11の専門外

科を設置し、各種資格を保有する歯科医師および歯科衛生士のもとで専門的な治療を進めております。

また今期からは、歯科用マイクロスコープを用いた根管治療症例に数多く対応できるよう、機器の導入とともに経験豊富な歯科医師を増員しました。長らく補綴の立場から「噛める」を叶えてきた経験より、患者様全体を診て適切な治療を行う重要性を感じておりますので、お困りの症例がございましたら遠慮なくご紹介いただきたく思います。

センター開設当初からの課題であったウェイティングにつきましては、チェアタイムの空きをなくして効率よく稼働できる工夫をし、現在はかなり改善されてきております。しかしながら診療科によってはまだお時間をいただいている現状です。できるところから改善し、患者様、そして連携医院様にご迷惑をおかけしないよう努めてまいります。

これからもどうぞお力添えのほどよろしくお願いいたします。

## 副センター長 伊藤 太一（口腔インプラント科）

副センター長を拝命して4年目を迎えたいま、補綴歯科専門医として「噛めない」「食べられない」といった症状の原因は義歯や歯の状態だけでなく、口腔機能の健全性とも深く関わっていることを強く感じています。当センターでは、「噛む」「食べる」「飲み込む」機能を適切に評価し、必要な対策を講じることで、口腔機能の維持と改善に取り組んでいます。口腔機能の低下が顕在化する前に、ぜひ検査をご活用いただければと思います。また皆様との連携をより具体的に進めるうえで、診療連携は当然ながら、学びの共有も大切にしていきたいと考えております。地域でのセミナーや勉強会などの企画がございましたら、是非お声がけください。今後も皆様とともに、患者様を支えてまいりたいと存じます。

## 副センター長 久永 竜一（補綴科）

今年度も副センター長として、患者様との信頼関係を築きそれぞれのニーズに沿ったケアが行える歯科衛生士の育成と、個々の能力を発揮できるような管理、調整を行っていきたくと考えています。私個人として、幼い頃に歯科治療への恐怖感があったことを胸に留め、治療の際には安心感を与えられる歯科衛生士でありたいと常に考えています。当センターでは治療が困難な小児、そして障害児および障害者の対応が可能です。該当される方がいらっしゃいましたら遠慮なくご紹介ください。患者様に安心を与え、ご満足いただけるよう努めてまいります。センターの使命である地域歯科医療への貢献と、後方支援に応えられるようサポートいたします。よろしくお願いいたします。

A 総合診療科（スポーツ歯科）宛に紹介状をお書き下さい。患者様には【予約専用ダイヤル：043-270-3900】で予約を取られた後、来院するようお伝えください。

## 副センター長 大神 浩一郎（総合診療科）

センター運営に関らせていただき6年目となりました。私の所属する口腔インプラント科の視点から、具体的なセンターの活用についてご紹介をさせていただきます。当科では、単歯から多数歯欠損症例、無歯顎症例等の様々なインプラント治療症例を手掛けております。全身麻酔や鎮静麻酔も可能な設備の手術室において、1日最大3件までインプラント関連の手術を行うことが可能です。インプラント治療をご希望されている患者様がいらっしゃいましたら、ぜひともご紹介いただき、治療を通じて先生方の一助となればと考えております。患者様を通じて先生方とともに地域歯科医療に貢献したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

6 月1日付けで副センター長を拝命しました。大学卒業時からこの地で勤めてきましたので、新センター開設以降の課題については、地域の皆様と同様の認識をもって対応にあたっておりました。今後は今までのセンター長が築き上げてきた実績を引き継ぎ、さらに地域の先生方と患者様から頼られるセンターになるよう、運営の立場で参画して参ります。それとともに臨床研修歯科医の育成の場においては、早期に地域医療に貢献できる歯科医師にすべく教育の充実を図り、臨床の場においてはデジタルデンティストリーの効率的な活用を推進していきたいと考えております。また先生方から頂くご指摘につきましても、一つひとつ解決に努めていく所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 副センター長 安部 晴美（歯科衛生士長）

紹介状Q&A  
皆様から寄せられる  
ご質問にお応えします

Q マウスガードの作成など、スポーツ歯科への紹介はどこにしたらよろしいのでしょうか？